

リハビリテーション 補助教材テキスト

2021.3

クリニカル作業療法シリーズ 日常生活活動の作業療法

藤井浩美、小山内隆生、黒淵永寿=編集

●B5判・332頁 ●2014年9月発行
●定価 4,400円(税込)

日常生活活動(ADL)を改善するトレーニングをどう実施するかを障害・疾病別に解説。基本動作、身の回り動作(身辺動作)、日常生活関連動作、社会参加の他、身体・精神・知的・発達障害まで疾病ごとに評価の方法・問題点の上げ方・実施の計画立案の視点を具体的に示した。

主要目次

5066

- 第Ⅰ部 日常生活活動(ADL)の概念と種類
- 第Ⅱ部 日常生活活動(ADL)の評価とトレーニング
- A 基本動作
 - B 身の回り動作(身辺動作)
 - C 日常生活関連動作(活動)(APDL・IADL)
 - D 日常生活活動と生活リズム
 - E 社会参加
- 第Ⅲ部 日常生活活動(ADL)の評価とトレーニングの実際
- 1 脳血管障害 2 脊髄損傷 3 変性疾患(パーキンソン症候群)
 - 4 骨・関節疾患 5 内部障害(呼吸器疾患)
 - 6 統合失調症 7 認知症 8 躁うつ病
 - 9 神経症 10 薬物・アルコール依存症 11 高次脳機能障害
 - 12 脳性麻痺 ほか

